



題字 井口 文章
再刊 第255号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2018

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面 53回生 卒業おめでとうございます
進学懇談会で先輩に学べ
二面 特選ごだいら食い倒れ7品!
1年遠井さんヴァイオリンで全国5位

助け合った仲間との絆忘れないで

第53回卒業式挙行政

3月3日(土)に第53回卒業式が挙行政された。今年の卒業生は525名。在校生や教員、保護者のあたたかい拍手を受けながら、卒業生は将来への希望を胸に錦城高校を旅立った。

希望を語る人になろう

暖かい春の日差しのもと、53回生の卒業式が催された。卒業証書授与では担任が

一人ひとりの名前が呼ばれ、体育館に大きな返事が響いた。校長先生は「先輩の記録を塗り替えようと頑張ることは、希望に目を向け努力することが大切です」と伝えた。

最後のHR終了後、教室で

「一番の思い出は部活仲間との大会です」と話す佐藤君くん



卒業式後、教室の黒板の前で卒業証書を持って笑顔でピース

旅立ちを前に最後の贈り物

笑いあり涙ありの三送会

2月27日(火)、第一体育館にて三送会が行われた。

幕を切ったのは先生方で構成されたバンド「キューティー」。

ノリの良い演奏など、様々な露し、会場を絶えず笑いで包み込んでいた。パフォーマンスが会場を盛り上げる。中でも体操部のステージではただ技を披露するだけでなく、顧問の仁井先生が向かってくる敵を倒していくという寸劇となっていた。



全演目後、観客に手を振る3年生の先生達

三送会の最後には三年生代表として松尾紗也香さん(3E)が、涙ぐみながら学年主任の阿部先生に花束を贈った。そして阿部先生は「3年間楽しかったことも苦しかったこともあったけど、みんなと

生徒が学校を楽しいと感じてくれたら

今年度で「さだ先生」と国語科の田中貞夫先生が定年退職をする。古文の教師となつてから43年間、ここ錦城で働いた先生に今の思いを聞いた。

「だって自分の専門をそのまま教えたらいいいんだから、これほどいい職業はないなって思って」と当時のことを振り返る先生。

43年間休むことなく教えることができた理由を尋ねると「何だかんだ錦城は嫌いじゃなかったし、生徒も好きだったから」と先生。



教えるは映画監督から団子屋まで様々

「たまたまが一生になったけど...でも楽しかったよ、43年間」
お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富田君は、昨年から話題の吉野源三郎作『君たちはどう生きるか』を手に取った。...

「ブルボンちえみwith B」のパロディーなどが披露され、完成度の高さに生徒たちも盛り上がった。

来年も良い会を

三送会実行委員長の菅原彩乃さん(2E)は今回の三送会を「前日までいくつ失敗があつたものの、本番は大きな問題も無くてよかったです」と笑顔。

感謝の気持ち込めた送辞

三送会準備などをした中央委員会の代表として、生徒会長の村本夏望さん(2E)に話した。

むらさき草

おととするあまり、ほとんど手が挙げられなかった。周りの人は次々と当てられていくのに、結局自分一人、何も言えぬまま、人生で一番楽しんだ日は、虚しさが入り混じった後悔で満ちた。...



様々な思いを胸に体育館を後にする卒業生

卒業生に聞く合格への道のり

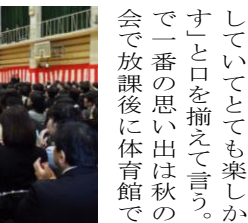
3月13日(火)に進学懇談会が行われ、卒業した53回生の「受験について話をしたかった。1・2年生は受験を終えたばかりの先輩方の話を真剣に聞いていた。」

得意教科でも放置は禁物

杏林大学医学部医学科に合格した小澤大機先輩。「まず、今日家に帰ったら市民会館や

色んな人と切磋琢磨を

明治大学情報コミュニケーション学部学部に合格した小筆陸太先輩。7月まで野球部で活動を続け、多くの辛いことを乗り越えてきたそう。



「詰め込みは禁物です」と語る小澤先輩

「部活は最後までやりきって」と小筆先輩

「部活は最後までやりきって」と小筆先輩。また授業中に寝ないことも大切だそう。

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富田君は、昨年から話題の吉野源三郎作『君たちはどう生きるか』を手に取った。

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富田君は、昨年から話題の吉野源三郎作『君たちはどう生きるか』を手に取った。